

経常研究

天然原料の品質管理と生産性向上 (3/3)		NO. 16
いぶし瓦の変色に関する加速試験法の検討 (1/1)		
研究機関／担当者	三河窯業試験場 本部（共同研究支援部）	今井 敏博、深澤 正芳、清水 彰子 加藤 裕和、中尾 俊章
研究の概要	これまで西三河地方で生産されるいぶし瓦の色味変化に関する研究を行ってきた。様々な条件で焼成したいぶし瓦を人為的に色味変化させ、分析を行ったところ、素地中の鉄化合物が色味変化に影響を与えることが分かった。こうした状況を踏まえ、本年度はこれまでの知見を基に出荷前のいぶし瓦を対象とした変色に関する加速試験方法の確立を目指す。	

窯業原料における可塑性評価の実用化研究 (2/3)		NO. 17
木節粘土における可塑性評価の実用化 (1/1)		
研究機関／担当者	瀬戸窯業試験場 三河窯業試験場	長田 貢一 深澤 正芳
研究の概要	枯渇しつつある蛙目粘土を補完する材料として期待される木節粘土を中心に、機器分析及び既存法による可塑性の評価とシンクロトロン光を用いたX線回折による結晶性の評価（ヒンクレイ指数）を行い、相関関係を検討して、正確かつ迅速な評価方法を確立する。	